

★HP限定★よつばだより
令和6年度 都知P連総会へ
参加してきました!

6月7日に代々木で開催されました
東京都知的障害特別支援学校PTA連合会(都知P連)の
総会へ行ってきました!

会場のオリンピックセンター

こんなことをしています!

都知P連に加入する、41の東京都の特別支援学校 PTA会員が集まり、
令和5年度はどんなことをして、予算をいくら使ったか報告したり
令和6年度の役員の承認や、予算案の承認を行う集会です。
(各校1名以上の参加が必須です)

保護者だけでなく、校長先生や、提携団体の代表・教育庁の職員の方など、
顔ぶれは実に様々です。

総会の実施内容は、配布しました白い冊子をご参照ください。
「総会」って聞くと…なんだかもものすごくカターい響きですが…
実は笑い声が起こったり、思わずうんうん…と、うなづく場面も。
意外と、面白い会合なんですよ。

今回はその中で、来賓の方のお話で印象的なお話をご紹介します。



学校と積極的に コミュニケーションを

★以前、特別支援学校の教員をなさっていた教育庁の方のおはなしです。

1. 是非、学校とたくさん話をしてください!

「先生に物申すなんて、ちょっと申し訳ない…」なんて思わないで
心配なこと、不安なこと、お願いしたいことを、先生に話してみましょう。
伝えないと、やっぱり伝わらないままです。

12年の学校生活はあっという間!できることを、一緒に増やしていきたいんです。

2. 先生の話も、聞いてみましょう

教職員は、「保護者と共に育てたい!」という熱い思いを持っています。
現場の意見にも、どうか耳を傾けてみてください。

3. 一年目 二年目の若手職員を、共に育てましょう

なんでも初めては緊張の連続です。皆さんも、きっとそうでしたよね。
ただ、できることを増やしたいという願いは、新人もベテランも同じです。
どうぞ保護者の皆様、若手職員たちを温かく見守ってあげてください。

みんなでいっしょに
そだてましょう!



すべてのこどもに、必要な時期に、必要な教育を

★各団体の代表の方から、様々な歴史のおはなしもありました

・学校に通えなかったこどもたちが、通えるようになるまでは、本当にいろんなひとたちの
声と力が必要でした。

また、放デイがなかった時代には、重度のお子様を連れて、都へ様々な要望を出しに行った体験談も…
諸先輩方の努力の積み重ねで、今の特別支援学校や放デイがあるんです。

・今、会員数の減少により、いろんな障害児・者の団体の維持が厳しくなっています。

PTAも例外ではありません。こどもたちの教育をより良く変えるためにも、
特別支援学校のPTAの存在意義は、まだまだあるのではないのでしょうか。

終始和やかな雰囲気で行進し、令和6年度新体制の承認も完了。
会場は大きな拍手に包まれました。

総会終了後も、いろんな特別支援学校の保護者の皆さんが
他校の会員や、校長先生と、垣根を越えて
楽しそうに談笑されていたのも、非常に印象的でした。

こどもたち・保護者・教職員が、お互いを育て合い、成長する。
もしかしたらPTAって、そのカタチを支える組織なのかもしれませんね。
都知P連の総会は、各校7名まで誰でも参加が可能です。
来年度、ちょっと覗いてみたいな…という方が居ましたら
いつでもPTAまでご連絡ください！
(pta.akiruno.gakuen@gmail.com)

今回2回目の参加となりました。
都知P連の会長・来賓のみなさまのおはなしの
見識の高さに、驚きの連続。
自分を見つめ直す、良い機会になり
充実した時間を過ごすことができました。
また来年も参加したいです。

副会長 澄田 (B小6)

教育庁の方や、校長会の先生方
その他ご来賓の皆様のおはなしから
こどもたちの未来がより良くなるように
多くの方が力を尽くしていることを感じ
心温まりました。
当校でも校長先生を始め教職員の皆様が
【みんな我が子】の思いを胸に、支えて下さって
いることへ、改めて感謝する機会となりました。

統括会長 住谷 (B高1)



令和7年度、あきる野学園は
都知P連の役員校になります
(輪番制)

総会参加者から
ひとこと